

仕事モードに切りかえ？ 後ろでイライラ

Z 1 3

2008. 12. 24

J R東海労東二運分会

乗務員のみなさん！

最近、イライラしていませんか？

乗務点呼の最後に「それでは、仕事モードへの切りかえに」と始まる一口試問を後ろで聞いている、あなた。イライラしていませんか？

自分の乗務点呼や他の人の出勤点呼と重なるのに長々と試問は続くし、答えられず時間はどんどん経過するし、出場時間は迫るしでイライラは増すばかり。この混雑を何とか避けたいですね。

おまけに試問された乗務員は自分が試問に答えられなかったばかりに次の人を待たせてしまった、とあせってしまいます。あせって携帯品をカウンターにでも忘れようものなら「〇〇の一時紛失」と「時系列等報告書」が待ち構えている、と思うとゾッとしますよね。

わたしたち東海労は一口試問について掲示で何度か取り上げてきました。また、特に朝、出勤と乗務点呼が重なっているなかで、乗務点呼を優先するばかりに出勤点呼を当直前で15分も待たされた事実を運転科長に訴えた組合員もいました。その効果かどうかは分かりませんが、その後かなり試問の機会は減っていました。気のせいではないと思います。運転科長の英断に感謝していたところです。しかし、最近またまた、混雑の時間帯の一口試問が増えている様に思います。一体、どうなったのでしょうか。

わたしたち東海労組合員は試問される機会が非常に多くあります。なぜ東海労組合員にだけ試問するのか、と抗議もしています。そのせいなのか、「バランス」をとるためなのか、ユニオンや国労組合員のみなさんにも試問の機会が増えているようです。大変ご迷惑をおかけしていますが、その責任はひとえに運転科・所長の責任です。誤解なきようお願いいたします。

乗務員のみなさん！

みんなで言いませんか

仕事モードには1時間も前に切りかえている！ 出場遅延しそうだ！

後ろでイライラして待っていて事故につながったらどうする！

「出来ないさ モード切りかえ 人間だ」 C D 頑 爺